

## 佐藤忠美氏 本町初の快挙 第 57 回農林水産祭で天皇杯を受賞



町内稲作農家のリーダー的存在として、水稻直播栽培技術の実践に取り組んできた9区の佐藤忠美さんが、第57回農林水産祭において、栄えある天皇杯を受賞しました。

平成最後となる農林水産祭は、平成30年11月23日東京都の明治神宮会館で開催。過去1年間に農林水産祭参加行事で、農林水産大臣賞を受賞した512点の中から天皇杯、内閣総理大臣賞および日本農林漁業振興会会長賞が授与されました。各賞は農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営、むらづくりの7部門からなり、佐藤さんは農産・蚕

糸部門において天皇杯を授与されたもの。妹背牛町では初、北海道では11年ぶりの快挙となりました。

天皇杯の受賞理由は、(1) 田畑輪換による高い技術力と、きめ細かい栽培管理に裏付けされた水稻直播技術の実践 (2) 妹背牛町水稻直播研究会のリーダーとして技術の普及、経営の知識伝達とその取り組み (3) 女性の活躍 以上3点において高く評価されたものです。

このほど晴れの受賞を報告するために役場を訪れた佐藤さんは、銀色に輝く天皇賜杯を前に、北海道開基150年の節目の年に、永年の先進的農業の取り組みが認められた喜びと、支えていただいた数多くの人々への感謝の意を表していました。



天 皇 杯

## 前妹背牛消防団長森川英志さんが瑞宝双光章を受章

前妹背牛消防団長の森川英志さんが、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章、このほど役場を訪れ田中町長に受章報告をしました。

森川さんは、昭和48年に妹背牛消防団に入団。平成22年からは消防団長として本町の防火・防災活動の陣頭指揮をとるとともに、北海道消防協会の役員なども歴任され、安心安全な地域づくりに多大な貢献をされました。こうした功績が認められ、平成30年秋の叙勲で晴れの受章となったものです。勲記・勲章を前に、「消防団はじめ地域の皆さんに支えられ、こうして受章できたことに感謝します」と喜びを語っていました。

また、このたびの受章にあたり、森川英志さんより「地域消防諸施策のために」、森川鉄鋼株式会社より「地域商工振興諸施策のために」と、それぞれ妹背牛町に多額のご寄付をいただきました。森川さんは、「祖父の代から永年この地で鉄工場を営んでこられた感謝と、妹背牛消防団でも長くお世話になった恩返しをこの機会に」と述べ、田中町長に寄付金を手渡しました。

